

技術名称	応募者名	技術概要	テーマ
チップクリート緑化工法	(株)大林組	伐採材を破砕してできる木片チップを、特殊な加工を施さずにセメントミルク等で固結することにより、従来の植生基材吹付け工法単独では永続的な緑化が難しかった酸性土壌はもちろん、コンクリート擁壁面の緑化も可能にした工法。	除草発生材・樹木剪定材・流木等のリサイクル技術
オールグリーンニング工法	ライト工業(株)	建設副産物である現地発生チップ材や砂質系現地発生土に短繊維を混入することで、耐侵食性の向上を図り、幅広い厚さに生育基盤を造成することができ、法枠・アンカー受圧板などの構造物の全面被覆や樹木の導入を可能にした工法。	除草発生材・樹木剪定材・流木等のリサイクル技術
ボケチップ吹付植栽工法	日植緑地(株)	施工現場内で発生した木質系廃材を一次破砕生チップにして吹付機械で分解性袋体に詰めた筒を等高線状に設置し、その間には一次破砕生チップを吹付ることによって、木質系廃材を緑化資材としてリサイクルし、苗木植栽によってのり面を樹林化する緑化工法。	除草発生材・樹木剪定材・流木等のリサイクル技術
プラグマジック工法	東亜建設工業(株)	管路内を混気圧送中の軟泥に、拡大管を介して固化材を定量供給し、管路内に発生するプラグ流の乱流の作用を利用して混練りを行うものであり、軟泥固化処理工事において大量急速施工とコストダウンを可能にする技術。	浚渫土砂のリサイクル技術
FTマッドキラー工法	(株)フジタ	FTマッドキラーは、高含水な浚渫土砂や建設泥土などを瞬時に吸水改質することが可能であり、泥土を中性域で改質するために動植物に害を与えない特徴を有する。施工に際しては、瞬時の改質であることから、養生場所・時間を必要としない工法である。改質時の養生時間を必要とせず、バックホウでも容易に施工することが可能である技術。	浚渫土砂のリサイクル技術
高含水泥土造粒固化処理工法	五洋建設(株)	浚渫土等の高含水泥土に石炭灰や水溶性ポリマー等の含水比調整材と固化材を加え、専用の造粒ミキサで30～60秒間混合攪拌することにより、粒状の改良土を製造するシステム。	浚渫土砂のリサイクル技術
デイコンシステム	東洋建設(株)	大量の浚渫土や建設発生土等の高含水土に固化材を添加し、処理土の利用目的に合った物性に改良する連続攪拌混合処理設備で、あらゆる性状の土砂に対して安定した品質で固化処理でき、土砂のリサイクルをはかることができる技術。	浚渫土砂のリサイクル技術
ReSM工法	(株)熊谷組	改造したミキサー車(粘土塊を粉砕可能。幅広い含水比の浚渫土に対応可能。岩砕などを混入可能)に浚渫土、固化材及び水を積み込み、均質に混合・攪拌したソイルモルタル材料を高流動状態で打設し、任意の強度の均質人工地盤(堤体、盛土、充填)として構築する技術。	浚渫土砂のリサイクル技術
浚渫土砂の効率的な減容化処理技術	(株)大林組	浚渫土砂をスクリーデカンタにより短時間で分級し、粘土分の多い泥水のみをフィルタープレスで脱水することにより、処理時間の短縮、薬剤使用量の削減、減容化率の向上、設備面積の縮減、コストの削減を可能とする減容化処理技術。	浚渫土砂のリサイクル技術
ボンテラン工法による浚渫土砂のリサイクル技術	ボンテラン工法研究会	浚渫土砂に繊維質物質と高分子系改良剤を混合することにより、優れた強度特性を有した高耐久性改良土、軽量盛土材として適用可能。また緑化基盤改良土は保水力・保肥力・軽量性・団粒化に優れており、利用用途に応じた品質の確保を可能とした技術。	浚渫土砂のリサイクル技術
かみ合わせ鋼板巻立て工法	清水建設(株)	既存の柱の耐震補強工法である鋼板巻立て工法の一つであり、鋸刃状の機械式継手(かみ合わせ継手)を用いた工法。熟練工が不要で、現場における施工の省力化と工期の短縮が可能であり、コスト低減が図られる技術。	社会資本ストックの維持管理に要するコストを縮減する技術
光ファイバセンシングによる斜面・道路構造物モニタリングシステム	東日本電信電話(株) エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)	行政機関が保有している光ファイバーケーブルを有効活用し、光ファイバセンシングにより斜面や道路構造物の変形、クラック、移動、ひずみ等をリアルタイムでモニタリングし、地震・豪雨・老朽劣化などの原因により被害が生じる前にアラーム等を出し、緊急措置対応を支援するシステム。	社会資本ストックの維持管理に要するコストを縮減する技術
PRISM工法	前田建設工業(株)	補強用鋼材を内包した高耐久性のプレキャストパネルを気中でリング状に組立てて水中に沈設し、既設橋脚との間に水中不分離性コンクリート(またはモルタル)を充填し、既設橋脚と一体化させるドライアップ不要のRC橋脚の水中耐震補強工法。	社会資本ストックの維持管理に要するコストを縮減する技術
Slope Doctor	日特建設(株)	モルタル吹付法面の老朽化診断、補修・補強、修景緑化技術を一連のものとして運用することにより、現況の健全度と社会的ニーズ(安全・ライフサイクル・景観・自然環境等)を反映した最適設計(工法および施工範囲)を提案するマネジメントシステム。	社会資本ストックの維持管理に要するコストを縮減する技術

技術名称	応募者名	技術概要	テーマ
ジャケット式栈橋改修工法	新日本製鐵(株)	鋼製桁とレグとよばれる鞘管を一体化したジャケット構造を工場製作し、これを既設栈橋の鋼管杭にかぶせて設置することにより、栈橋の上部工更新、防食・構造補強を急速に行う技術。	社会資本ストックの維持管理に要するコストを縮減する技術
タフシート工法	鉄建建設(株)	表面が劣化、またはひび割れが発生したコンクリート構造物に紫外線硬化型FRPシート(タフシート)を接着してコンクリート表面の剥離・剥落を防止するとともに気密性の高い防食層を形成し、トンネルやコンクリート構造物の耐久性の向上を図る補修・補強工法。	社会資本ストックの維持管理に要するコストを縮減する技術
明色マイクログリッパ	日本道路(株)	トンネル内の粗面化した路面、すべり抵抗の低下した路面を既設のコンクリート路面を切削することなく短期間で補修する常温薄層明色工法。	社会資本ストックの維持管理に要するコストを縮減する技術
CurveX(カーベックス)工法	鹿島建設(株)	既存構造物の耐震性能の向上を目的に開発した工法。施設の運用を止めないで、遠隔地地表から構造物直下の地盤改良を可能にする技術。大規模な仮設が不要で従来工法と比較してコスト縮減や工期短縮が可能な技術。	社会資本ストックの維持管理に要するコストを縮減する技術
浸透性吸水防止材「マジカルリペラー」	鹿島建設(株)	コンクリート表層部にシリコン樹脂の吸水防止層を形成し、内部への水分の浸透を防止する。水分の浸透が原因となるコンクリート劣化現象(塩害・中性化・凍害・アルカリ骨材反応等)の進行を遅らせ、コンクリート構造物の長寿命化およびライフサイクルコストの低減を図る技術。	社会資本ストックの維持管理に要するコストを縮減する技術
モイスタロード	東亜道路工業(株)	開粒度アスファルト混合物の空隙に保水・吸湿効果の高い鉱物質系混和材を添加した保水性グラウト材を注入・充填することで舗装体内に水分を蓄え、昼間に水分を放出することで路面温度を上昇抑制すると共に、夜間に吸湿することで機能が持続する舗装技術。	ヒートアイランド対策技術
エコトーン型屋上緑化工法	佐藤工業(株)	ピオトープ池と貯水槽とを連結させる工夫により、池に近い場所では湿潤な環境を、これから離れるに従って乾燥した環境を実現し、多様な生物種の確保のために重要とされる環境移行帯(エコトーン)を、無灌水により、屋上を実現できる緑化工法。	ヒートアイランド対策技術
パーム・グリーン・システム	(株)間組	土壌のような植栽基盤を用いずにヤシ殻マットというヤシ殻で覆われた内部にココヤシダストと肥料を含む緑化資材ユニットを植栽基盤とし、屋上や壁面を草本類により緑化する技術。	ヒートアイランド対策技術
スラグを用いた透水・保水性兼備型ヒートアイランド抑制舗装	鹿島道路(株)	排水性アスファルト舗装の空隙に、高炉スラグを主原料とした保水材を部分注入する舗装工法。透水性を維持しつつ、保水性を持つ事ができる。気化熱で路面を冷却し、ヒートアイランド現象を緩和する技術。	ヒートアイランド対策技術
クールパービラス	(株)NIPPOコーポレーション	太陽光の中でも特に熱に変化しやすい赤外線の多くを反射することにより路面温度の上昇を抑制する遮熱排水性舗装で、特に都市部における熱環境の改善と騒音の低減との両立を可能にした、多機能型排水性舗装技術。	ヒートアイランド対策技術
クールファルト(保水性舗装)	日本道路(株)	開粒度アスファルト混合物層の空隙に保水材(浸透用セメントミルク)を注入・充填した保水性舗装であり、舗装体内に保水された水分が蒸発し、気化潜熱を奪うことによって路面温度の上昇を抑制する舗装。	ヒートアイランド対策技術
DREAM工法	大豊建設(株)	ニューマチックケーソン工法における高気圧作業の完全無人化を目指した工法であり、作業室スラブの上に上スラブを設けて、二重スラブによるマンロックや掘削機のメンテナンスロックを形成することにより、ほぼ完全な無人化掘削を実現した技術。	長期的テーマ(その他)
高品質トンネル覆工天端部締固めシステム	前田建設工業(株)	従来困難であったトンネルクラウン部の覆工コンクリートの締固めを可能にしたものである。まず、長尺の棒状バイブレータを事前にセットしておき、次に覆工の妻部までコンクリートが充填されてからバイブレータを稼働させ締固めを行い、同時にバイブレータを引き抜くというシステム。	長期的テーマ(その他)
HEP&JES工法	鉄建建設(株)	本工法は、引張力を伝達できるJES継手を有する鋼製エレメントをけん引する方法で敷設し、本体利用することで、道路等の交差構造物を非開削で速く、精度良く、安全に施工するための新しい工法。	長期的テーマ(コスト縮減)

技術名称	応募者名	技術概要	テーマ
環境配慮型ポーラスコンクリート	鹿島建設(株)	大きな空隙を形成する20~40mmの大粒径粗骨材を用いることで、多様な動植物の生息や自然土壌の充填を可能とし、環境保全機能の向上とコストの抑制を図った。また、開発した特殊混和剤と振動締固め機を用いて、護岸に必要とされる10N/mm ² の圧縮強度を確保した技術。	長期的テーマ (自然創出)